

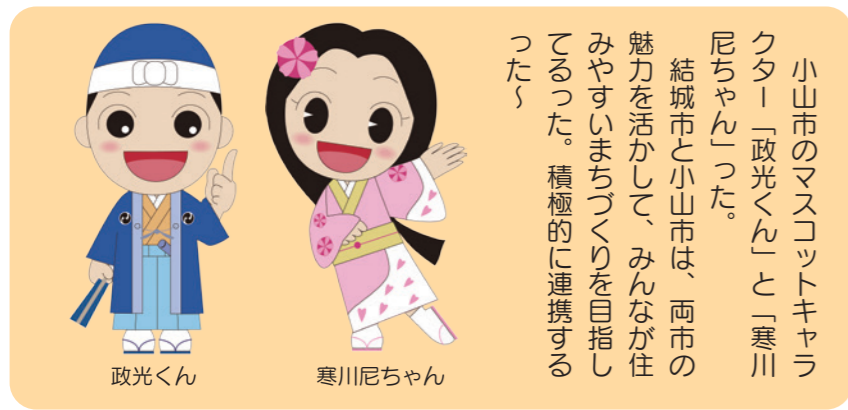
結城市・小山市情報交換会を開催



前場市長は「住民同士が交流する事業もあり、両市の結びつきがますます強くなっている」と話しました。

本市と小山市は、歴史的にも深いつながりがあり、市民生活や地域経済も密接しています。それらを基本に、平成26年10月2日に、友好都市の盟約を結びました。さらに、平成28年4月7日には、小山市、下野市、野木町との3市1町で、「定住自立圏の形成に関する協定」を締結しました。本市では、これからも広域連携を積極的に活用し、様々な分野で連携事業を推進することで、地域の活性化を図っていきます。

5月23日、本市役所において、平成30年度第1回結城市・小山市情報交換会を開催しました。両市の市長をはじめ執行部27人が出席し、各政策分野に基づく連携事業について、報告・提案を行いました。



小山市のマスコットキャラクタ「政光くん」と「寒川尼ちゃん」は、結城市と小山市は、両市の魅力を活かして、みんなが住みやすいまちづくりを目指している。積極的に連携する



【政策分野別主な取組一覧】

連携事業	政策分野	情報交換会で報告・提案された事業
友好都市	企画・行政・生活	盟約記念事業、交通安全啓蒙活動の推進、収納率向上のための相互協力など
	経 済	田んぼアート、農業関係連絡会の設置など
	教 育	青少年非行防止・巡回パトロール
定住自立圏	生活機能の強化	畜産防疫情報の交換・連携、農地集積情報の交換・連携、救急医療体制の充実強化、病児保育事業の連携、生涯学習を通じた交流推進、小学生の学習交流体験事業の推進、スポーツ施設共同利用の推進、消防体制の連携強化、水道災害時相互応援活動の推進など
	結びつきやネットワークの強化	コミュニティバス・デマンド交通の連携強化、圏域内交流イベントの開催、移住・定住促進のための連携強化など
	圏域マネジメント能力の強化	外部人材の活用、圏域内職員の人事交流など

問 市企画政策課 | ☎ 34-0404



『川は私たちの財産』

大切な川を守りましよう！

「7月7日は「川の日」です。」
これは、七夕伝説の「天の川」のイメージや季節的に水に親しみやすいことから定められました。人と川との豊かなふれあいについて、もう一度見直し、きれいな川を取り戻しましょう。



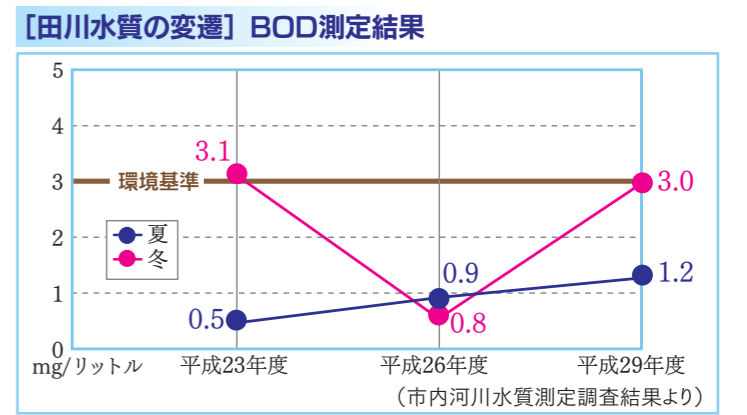
宮の下 越渡橋から見た田川の風景

結城市の北東を流れる田川。この流れは日光市に源を発し、久保田付近で鬼怒川に合流します。田川の水は農業用水などに使われ、秋には小森付近までサケが上って来ます。市では、年2回夏と冬に田川の水质測定を行っています。下表は、小森市内の田川橋付近における※BOD測定結果（平成23年度、平成26年度、平成29年度）を表したものです。夏は全ての年度で※環境基準を下回っています。冬は平成23年度に環境基準を超えていましたが、それ以降は下回っています。県の調べによると、川の汚れの主な原因は、家庭から流れる生活排水の影響が大きくなっているのが現状です。河川は私たちの共有財産です。私たちの大切なこの川をいつまでもきれいに保つために、公共下水道への加入や合併浄化槽の設置など、生活排水対策にご協力をお願いします。また日常生活において水を汚さない工夫をすることで、大きな効果がありますので実践してみましょう。河川にごみを捨てるのも汚染の原因になりますので、ごみのポイ捨てはやめましょう。

田川の水质測定結果をお知らせします

★私たちにできる「水質浄化」

- 調味料や油の付いた食器などは、ティッシュなどで拭き取ってから洗いましょう。
- 食用油は流さず、凝固材で固めたり、新聞などに吸わせて捨てましょう。
- 米のとぎ汁は養分があるので、植木の水やりに利用しましょう。
- 生ゴミは三角コーナーに入れて、細かいゴミを流さないようにしましょう。
- 洗剤やシャンプーは適量を使いましょう。



問 市生活環境課 | ☎ 34-0410

※用語説明
○BOD（生物化学的酸素要求量、Bio Chemical Oxygen Demand）……水中の有機物が微生物により分解されるときに必要な酸素の量。一般にBODの数値が大きいほど水が汚れていることを意味します。
○環境基準……人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、国が定めた基準。水質のほか大気、土壌、騒音の環境基準があります。